



# おちほ

第32号 平成10年12月10日 発行 社会福祉法人 椎の木会 落穂寮 発行者 山下 陽一

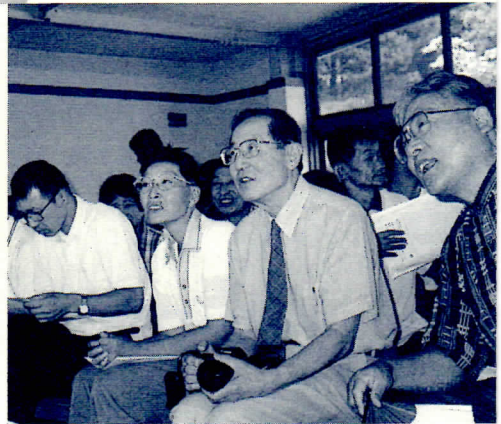
# 同



# 窓



# 会



成人施設。周囲で耳にしていたこの言葉がいよいよ現実のものとして動き出しました。成人化に先立ち、28年間慣れ親しんだ建物を惜しみ、新しく建つ建物を夢見て同窓会が行なわれました。現在落穂寮で生活している人たちはもちろん、落穂寮を巣立って行った人たちも多数参加して下さいました。当日は生憎の空模様となってしまいました。集まった同窓の人たちと出会うことで終始暖かい雰囲気にも包まれていました。午前中は同窓の人たちにその時々々の落穂寮を、そしてそれぞれの現状を話して頂き、午後からは落穂寮に関する〇×クイズで盛り上がりました。とても短い時間でしたが、現在と過去とが融合し、未来について語り合えた楽しいひとときでした。

今回同窓会を行なったことで、たくさんの人たちに支えられてきたのだと改めて実感させられました。これから先、建設が進むにつれ、皆様にはお願いしなければならぬことや、ご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、今後共、より一層のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。



# 昔々今ふく

開寮のとき、近江学園二部さくら組13名の新入寮生を迎えた。さくら組は学内の知的障害重度のクラスだった。

落穂寮の生活のなかで、岡山先生（やよい作業所コーディネーター）や初田先生（故人）の慈愛あふれる指導薫陶をつけ、かれらは目覚ましく豊かに成長した。

田村一二先生の助言指導をうけた絵画制作に、繊細でみごたな表現力をはっきした。「ゴッホ」研究の権威者式場隆三郎博士（ちぎり絵作者 山下清氏を指導）が寮生の絵を激賞され、チビタクレパスで描く寮生にクレパスをたくさんプレゼントしてくれ、美術出版社の月刊誌「美術手帖」の臨時増刊「ちえおくれの子らの作品——落穂寮児のえがく絵——」の出版をおしすすめられた。また東京の東横デパート階廊で東京タイムス新聞社主催の展覧会を開いて啓蒙宣伝につくしていただいた。この面の啓蒙が未開のおり画期的なできごとだった。落穂寮の名声天下にひろがったのは勿論である。

障害の人たちが音に寄せるひたむきな姿勢や音感に気がつき、それを体現させる学習が、しんぼう強く熱心にすすめられた。音の流れと強弱にさそわれ身をこなし振付ける舞踊劇を演ずる寮生の姿に大拍手が湧いた。近江学園の学習発表会や後援会には欠かせない呼び物のひとつになった。

が寮生の絵を激賞され、チビタクレパスで描く寮生にクレパスをたくさんプレゼントしてくれ、美術出版社の月刊誌「美術手帖」の臨時増刊「ちえおくれの子らの作品——落穂寮児のえがく絵——」の出版をおしすすめられた。また東京の東横デパート階廊で東京タイムス新聞社主催の展覧会を開いて啓蒙宣伝につくしていただいた。この面の啓蒙が未開のおり画期的なできごとだった。落穂寮の名声天下にひろがったのは勿論である。

リズム楽器で編成されたバンド演奏が好きでたまらなく、寮生が

昭和26年秋、昭和天皇が近江学園にお見えになりました。寮生のバンド演奏をご覧になり、陛下が感動の様子であつたと、糸賀先生が報告書に記されている。

理事長 増田正司

# さくら組の子どもたち



▲両手両足を力をこめて、半身を画用紙の上のり出し作画に余念がない寮生さん。(美術手帳より抜粋)

# 昔々今ふく

(98・10・6)



# すぐ帰ってくるんだから

君も来たまへー

泉 長山 下陽

シヨックな体験

落穂寮の様子や寮生たちが日頃どのような生活をしているのか、少しでも理解の助けになったらという思いから、施設にお誘いして寮生達と作業したり遠足に出かけたりいろいろな行事をしています。最近ではその機会も内容も増えて少しずつですがその効果も期待できるのではないかと考えています。六月十七日に行なった石部中学との「ふれあい交流会」のときの生徒達の感想文を読みました、交流についての認識の差はさまざまあるものの、最初は不安だったけれど時間を経るに理解と共感が生まれていることがどの生徒たちにも感じられ、なかには次のようなものがありました。

重い障害をもつひ子さんが精神的に安定せず、つないでいた手をはどぎ額を路面に打ちつけていた様子に触れ、「このひとは自分の気持ちをおのりにしか現わすことができないのだ」と述べていました。誰もがこのような場面に遭遇すると気持ち悪がったり恐がったりするのでしようが、この生徒は交流について私達の願いの核心を感じ取ってくれました。少年期のこのような体験は将来の人間の形成にあたり、考え方や感じ方の「芽」になるのではないかと期待しています。

君も来たまへ  
先日、NHKで三度に渡り放映されましたが、幼少期の体験の大切さについて、ニューデリーで開催された国際児童図書評議会にビデオで基調講演された皇后のおはなしです。  
戦時下のご自身の読書体験についてお触れになりながら読書によ

り悲しみや楽しみを知ったことを述べておられるのですが、私は極めて短いこの時期に体験されたことが生涯に渡る刻印となっていて心に残っていることは驚くべきことだと思います。お話の中でこの時の読書のなかの詩編に、成長した後大学の図書館で原語の英詩に出会うことになりました。  
「牧場（まきば）」  
ロバート・フロスト  
牧場の泉（いづみ）を掃除（さうぢ）しに行ってくるよ。  
ちよっと落葉（おちば）をかきのけるだけだ。  
（でも水が澄（す）むまで見るかも知れない）  
すぐ帰（かへ）ってくるんだからー君も来（き）たまへ  
子牛（こうし）をつかまへに行ってくるよ。  
母牛（おや）のそばに立っているんだがまだ赤ん坊（ぼろ）で母牛（おや）が舌（した）でなめるとよろけるんだよ。  
すぐ帰（かへ）ってくるんだからー君も来（き）たまへ  
皇后はこの詩のどこに喜びの源があるのか十分説明することができません、とお述べています。  
私がこの詩に接して一番印象に残るのは繰り返される最後の一節  
すぐ帰（かへ）ってくるんだからー君も来（き）たまへ  
これは作者からこの詩を読んでいる読者への呼びかけや問いかけでしょう。このようなことが幼少期の思い出として心の「ひだ」に深く刻印され、年老いるまでの気掛かりの一つとし何度も思い返され、その都度新しい自分が作られるに違いないと思うのです。

# 平成9年度

## 社会福祉法人 椎の木会

### 収支決算報告

#### 椎の木会 本部会計収支計算書

自平成9年4月1日 至平成10年3月31日 単位：円

借	方	貸	方
科 目	金 額	科 目	金 額
31 事務費支出	4,626,166	41 補助金収入	1,551,316
01 役員俸給	3,066,800	01 地方公共団体補助金収入	1,551,316
02 職員俸給	0	02 公益事業補助金収入	0
03 職員諸手当	0		
04 賃当金	0		
05 法定福利費	594,600	42 寄付金収入	16,823,965
06 厚生経費	0	01 寄付金収入	16,823,965
07 退職給与及び引当金	0		
08 旅費	134,200	43 繰入金収入	1,540,618
09 一般物品費	13,666	01 施設会計繰入金収入	1,483,941
10 固定資産物品費	0	02 特別会計繰入金収入	56,677
11 印刷製本費	0		
12 光熱水費	0	44 雑収入	1,390,439
13 燃料費	0	01 雑収入	1,390,439
14 会議費	204,625		
15 修繕費	0	小計	21,306,338
16 役員務費	42,645		
17 借料損	192,400	45 引当金戻入	0
18 雑費	377,230	01 退職給与引当金戻入	0
		02 特定引当金戻入	0
32 元利償還金	3,801,316		
01 設備資金借入金償還金	2,250,000	46 設備資金借入金収入	0
02 利子	1,551,316	01 設備資金借入金収入	0
33 繰入金支出	12,700,000	47 積立金戻入	0
01 施設会計繰入金支出	0	01 建設積立金戻入	0
02 特別会計繰入金支出	12,700,000	02 その他の積立金戻入	0
34 雑支出	0	小計	0
01 雑支出	0		
02 特定引当金繰入	0		
35 固定資産取得費	0		
01 固定資産取得費	0		
36 積立金繰入	195,408		
01 建設積立金繰入	0		
02 その他の積立金繰入	195,408		
小計	21,322,890		
当期繰越金	-16,552		
合計	21,306,338	合計	21,306,338

#### 椎の木会 本部会計貸借対照表

平成10年3月31日 単位：円

借	方	貸	方
科 目	金 額	科 目	金 額
01 流動資産	5,962,729	11 流動負債	7,270
01 現金	0	01 経常資金借入金	0
02 預金	3,412,729	02 未払金	0
03 有価証券	0	03 未払費用	0
04 立替金	0	04 仮受金	0
05 仮払金	0	05 預り金	7,270
06 前渡金	0	06 前受収益	0
07 前払費用	0	07 施設会計借入金	0
08 貸付金	0	08 その他の流動負債	0
09 施設会計貸付金	0	12 固定負債	38,250,000
10 特別会計貸付金	0	01 設備資金借入金	38,250,000
11 未収金	2,550,000	13 引当金	0
12 その他の流動資産	0	01 退職給与引当金	0
		02 特定引当金	0
02 固定資産	532,953,799	負債合計(A)	38,257,270
01 建物	479,302,041	21 基金	508,919,826
02 固定資産物品	18,070,785	01 基本財産基金	445,381,747
03 土地	11,547,000	02 運用財産基金	63,538,079
04 建設仮勘定	0	22 積立金	-14,216,027
05 権利	0	01 建設積立金	0
06 投資有価証券	0	02 固定負債積立金	-38,250,000
07 その他の固定資産	24,033,973	03 その他の積立金	24,033,973
		23 繰越金	5,955,459
		01 前期繰越金	5,972,011
		02 当期繰越金	-16,552
		純財産合計(B)	500,659,258
資産合計	538,916,528	負債・純財産合計(A+B)	538,916,528



落穂寮 施設会計収支計算書

自平成9年4月1日 至平成10年3月31日 単位：円

借 目		方 金 額	貸 目		方 金 額
81	事務費支出	159,162,264	91	措置費収入	190,576,630
01	職員俸手	74,691,596	01	事務費収入	160,308,250
02	職員諸手当	55,835,206	02	事業費収入	30,268,380
03	貸付金	738,070	92	補助金収入	3,475,500
04	法定福利	14,997,084	01	都道府県補助金収入	3,475,500
05	厚生	1,201,761	02	市町村補助金収入	0
06	旅費	842,790	93	利用者負担金収入	181,450
07	一般物品	1,003,246	01	利用者負担金収入	181,450
08	固定資産	357,630	94	寄付金収入	0
09	印刷製本	283,500	01	寄付金収入	0
10	燃料	137,444	95	繰入金収入	0
11	会議費	148,286	01	本部会計繰入金収入	0
12	修繕費	7,855	02	特別会計繰入金収入	0
13	役員料	1,459,515	96	雑収入	7,760,945
14	借借料	1,382,196	01	雑収入	7,760,945
15	事務所修繕	26,596	97	引当金戻入	0
16	雑光	6,049,489	01	人件費引当金戻入	0
17	熱水	0	02	修繕引当金戻入	0
82	事業費支出	37,069,192	03	備品等購入引当金戻入	0
01	給食衛生	18,344,428	96	雑収入	7,760,945
02	保健衛生	624,016	01	雑収入	7,760,945
03	被服	833,977	97	引当金戻入	0
04	教養用品	1,816,346	01	人件費引当金戻入	0
05	用具	945,777	02	修繕引当金戻入	0
06	日本光熱	149,600	03	備品等購入引当金戻入	0
07	燃料	6,511,780			
08	器具	3,732,692			
09	器具	1,176,782			
10	修繕	2,014,366			
11	訓練	81,625			
12	医療	10,991			
13	教育	790,343			
14	雑	36,469			
83	繰入金	483,941			
01	本部会計繰入金	483,941			
84	引当金繰入	5,000,000			
01	人件費引当金繰入	0			
02	修繕引当金繰入	0			
03	備品等購入引当金	5,000,000			
	小計	201,715,397			
	当期繰越金	279,128			
合	計	201,994,525	合	計	201,994,525

落穂寮 施設会計貸借対照表

平成10年3月31日 単位：円

借 目		方 金 額	貸 目		方 金 額
51	流動資産	27,767,422	61	流動負債	5,146,181
01	現金	0	01	未払金	4,398,749
02	預金	25,658,110	02	未払費用	0
03	有価証券	0	03	仮受金	0
04	立替金	602,720	04	預り金	747,432
05	仮払金	60,500	05	前受収益	0
06	前渡金	0	06	本部会計借入金	0
07	前払費用	0	07	その他の流動負債	0
08	貸付金	0	62	引当金	28,401,410
09	本部会計貸付金	0	01	人件費引当金	9,000,000
10	未収金	1,446,092	02	修繕引当金	6,835,010
11	その他の流動資産	0	03	備品等購入引当金	12,566,400
			負債合計(A)	33,547,591	
52	固定資産	81,108,288	71	運用財産基金	52,706,878
01	固定資産物品	49,222,526	01	運用財産基金	49,222,526
02	投資有価証券	0	02	退職基金	3,484,352
03	その他の固定資産	28,401,410	72	繰越金	22,621,241
04	退職預け金	3,484,352	01	前期繰越金	22,342,113
			02	当期繰越金	279,128
			純財産合計(B)	75,328,119	
資 産 合 計	108,875,710	負 債・純 財 産 合 計 (A+B)	108,875,710		

しいのきホーム 施設会計収支計算書

自平成9年4月1日 至平成10年3月31日 単位：円

借 目		方 金 額	貸 目		方 金 額
81	事務費支出	3,360,696	91	措置費収入	0
01	職員俸手	2,336,000	01	事務費収入	0
02	職員諸手当	500,000	02	事業費収入	0
03	貸付金	0	92	補助金収入	3,116,680
04	法定福利	0	01	都道府県補助金収入	3,116,680
05	厚生	0	02	市町村補助金収入	0
06	旅費	86,428	93	利用者負担金収入	3,960,000
07	一般物品	48,268	01	利用者負担金収入	3,960,000
08	固定資産	0	94	寄付金収入	0
09	印刷製本	0	01	寄付金収入	0
10	燃料	0	95	繰入金収入	0
11	会議費	0	01	本部会計繰入金収入	0
12	修繕費	0	02	特別会計繰入金収入	0
13	役員料	0	96	雑収入	52,759
14	借借料	360,000	01	雑収入	52,759
15	事務所修繕	30,000	97	引当金戻入	0
16	雑	2,682,892	01	人件費引当金戻入	0
82	事業費支出	2,682,892	02	修繕引当金戻入	0
01	給食衛生	1,942,749	03	備品等購入引当金戻入	0
02	保健衛生	13,219			
03	被服	0			
04	教養用品	278,546			
05	用具	10,080			
06	日本光熱	0			
07	燃料	15,600			
08	器具	117,576			
09	器具	244,841			
10	修繕	7,350			
11	訓練	0			
12	医療	0			
13	教育	0			
14	雑	52,931			
83	繰入金	0			
01	本部会計繰入金	0			
84	引当金繰入	0			
01	人件費引当金繰入	0			
02	修繕引当金繰入	0			
03	備品等購入引当金	0			
	小計	6,043,588			
	当期繰越金	1,085,851			
合	計	7,129,439	合	計	7,129,439

しいのきホーム 施設会計貸借対照表

平成10年3月31日 単位：円

借 目		方 金 額	貸 目		方 金 額
51	流動資産	6,813,270	61	流動負債	0
01	現金	0	01	未払金	0
02	預金	6,503,270	02	未払費用	0
03	有価証券	0	03	仮受金	0
04	立替金	0	04	預り金	0
05	仮払金	310,000	05	前受収益	0
06	前渡金	0	06	本部会計借入金	0
07	前払費用	0	07	その他の流動負債	0
08	貸付金	0	62	引当金	0
09	本部会計貸付金	0	01	人件費引当金	0
10	未収金	0	02	修繕引当金	0
11	その他の流動資産	0	03	備品等購入引当金	0
			負債合計(A)	0	
52	固定資産	449,900	71	運用財産基金	449,900
01	固定資産物品	449,900	01	運用財産基金	449,900
02	投資有価証券	0	02	退職基金	0
03	その他の固定資産	0	72	繰越金	6,813,270
04	退職預け金	0	01	前期繰越金	5,727,419
			02	当期繰越金	1,085,851
			純財産合計(B)	7,263,170	
資 産 合 計	7,263,170	負 債・純 財 産 合 計 (A+B)	7,263,170		







## お引越し

落穂寮の改革が始まります。児童の施設から成人の施設へ向けて今後2年間の予定で建物や新しく生まれ変わっていきます。その建物ができるまでの間、寮生さん達は少し自由なでの生活の場を移動することになりました。

まず、一番初めに壊れてしまいうB棟の建物はA棟の建物へ、A棟の人は短期療養棟を改造した仮設棟へ、そのまゝA棟の建物は残ってB棟の人達と一緒に暮らすことになりました。10月中旬から始まる取り壊しでB棟の建物や食器は無くなくなりました。それやない食事も移動した棟内で食べることとなり、本家に家の中で生活するといった感じになっていきます。

10月2日にかけては、



## 「C棟の一日ってどんなの」

「おはようございます」と職員の一の声に、「おはよう」と元気よく大きな声で返ってきます。手を上げて「おはよう、首を傾けて「おはよう」、表現それぞれちがいますが、朝一番のあいざわ、今日一日、「がんばろう」といふ気持ちにさせてくれます。朝食前にランニング・体操・掃除・エサやり・玄関そうじとそれぞれ役割を果してから、朝食をいただきます。食事がすんだ後は、歯磨き、洗濯物たたみと多忙ですが磨き、それぞれの作業に出かけたり歩いてきて、「奥の部屋からスタスタと歩いてきて、「奥風呂場」と言って一目散に歩いて行く人、事務所前が集合なのに反対方向に行く人などさまざまですが、雨の日の嵐の日も、それぞれの課題を取り組んでがんばっています。

一日の仕事を終えたらみんなが楽しみにしているおやつ時間となります。楽しくおやつをいただいた後は、夕食までの間くつろぎの時間となります。マンガを見たり、テレビを聞いたり、ソファにゴロンとしてチーズの包装紙で遊ぶ

仮設の移動のための引越しの期間になり、寮生さん達が帰省している間に職員が必死で生活の場の移動をしました。B棟の建物から短期療養棟へ、様々な物が流れていき、洗濯機、テレビ、汚くなったしまった扉や畳もまたきれいなものと交換したり、壊れてしまったクローラー等は外してはみんなくいらなくなりました。みんな大抵で熱やしてしまったり、とても大変でした。残っていた寮生さんそれぞれあたたかさを感じてくることがあります。

これから2年間、落穂寮が新しく再生されるまでの間、落穂寮に住む人々は生活してと窮屈ですがそんな中で生活して行きます。

これまでのA棟の人達で短期療養棟へ移る人は、木下元亮さん、高田ゆんくん、江尾弘泰くん、高田じゅんくん、東徹人の7人、そのまゝA棟の建物へ移る人は、北村裕也くん、山口敦功くん、山田章仁くん、林明夫くん、土田淳くんの5人です。離れ離れの生活になつていますが、新しい環境で一人一人が一杯頑張れる空間を寮生さん、職員と思ひたいです。

Cとう Aとう  
すい Bとう



## 夏の一日

8月6日木曜日、B棟恒例の夏の飯食すいさい。今年は山方面の田村川での実施となり、心配していた天気もみんなの願いが通じてなんとかあつてくれました。

寮生さん全員赤た参りして水着に着替えるなり現地に着替えて、冷たい川の中へ、パンパシヤと勢い良く入っていき寮生さんもしれば、一歩一歩冷たさを感じながら、足場を確かめながら入っていく寮生さんと様々ですが、みんな自然の川で楽しむひとときです。ありがとうございました。



## 惜別

箕口 百合子

田郷から石原へ移った寮生と職員、父兄の方をして現在生活している寮生努力で、緑多し、生活空間が出来上がりました。

その中で、故本田先生の自慢は水田先生の良い運動会でした。秋になると毎年運動会のため、寮生も職員も整備のために汗を流し、大事にしています。

その運動会も今年の九月の長雨は水たまりを通りかかって一面水に覆われた日が続いていきなりました。個性いっぱい寮生、個性いっぱい職員みんなで助け合い、寮生の笑顔と成長を見ながら、これからもがんばっていききたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。



▲「絵、描くの大好き」

私が落穂寮に勤め始めたころは落穂寮があったので、職員棟は特に小一の中、一学校の先生と食堂は隣り、はさきさきそうでした。給食になったので急と、昼は学校になりました。でも、学校の遠足、社会見学、その他行事でお弁当が、母、職員の方の助けを借りて、校時間までにはあわや、忙しなながらも楽しい井戸作りでもありました。

義務学校を卒業した寮生達の毎年は賑やかなに、今では当分より高部、平成の分だけになり、平成二十二年には井戸作りもなくなりました。

もうすぐ食堂棟もB棟も「パリパリ」と寮生さん達が散歩に利用した藤棚の下のベンチも、一瞬に消えゆく事でしょう。

運動場で「一九九八年十月十二日」式があり、大人になつてゆく寮生さん達、成人施設療養寮で出来るまで、数えきれない思い出で希望にむかっています。いよいよ出発です。

一九九八年九月二十日記す。



# 石部中交流遠足



天気が心配されるなか行ってきました、金勝山。強い風が吹き、時には雨もばらついたりと、天候は今一つでしたが、みんなはとても明るい表情でした。中学生の出し物あり、ゲームあり、そして寮生さんが大好きなお弁当あり、一日楽しく過ごしてきました。

中学生によるカサを使ったダンスや組立て体操では、緊張した顔、失敗してテレ笑い、などいろいろな表情が見られ、今までの練習の成果も充分伝わってきました。「お弁当はまだ?」「早く食べた

でしたが、本当に楽しいひとときとなりました。ルールを理解できない人もいて、中学生の思うようにすまないこともありましたが、それでも最後まで「一緒に」「みんなだ」という雰囲気がありました。座り込んでいる人には何度も声をかけたり、「手つないでくれへん」「俺嫌われてるわ」と言いながらも笑顔いっぱい、後を追いかけては誘うなどの積極的な姿が印象的でした。寮生さんもまた、いつもの職員との関わりでは見られないような動きや笑顔をたくさん見せてくれました。

帰る頃になると、出発の時よりも表情が和らいでいる人が多かったです。「つかれた」「しんどい」と言いながらも笑顔で、風や雨でもなんでも大笑いしている中学生に影響されてか、寮生さんもいつも以上にパワフルで、金勝山には活気があふれていました。

交流の機会はそれ程多くはなく、実際には大変なこともありますがお互い感じ取ることも多く、楽しい一日となりました。みなさん、ごくろうさまでした。中学生のみなさん、出し物、ゲームありがとう。そして、

「また会いましょう」

## 泉

▽紙面が「建設」一色になりました。何とか違う記事も…と思いつても、やはり事が事だけに避けて通れないというのが皆の正直なところでしょう。実際、食べるどころ、寝るところ、通る道、見る物、聞く音など、全てが今まで経験した事もなく、又、これだけ制限を受けた事もないのですから当然と言えます。うれしい悲鳴かも知れませんが、ただひとつ、心痛むのは、これまで大地に根を張り、踏んばって生きてきた木々の大半がその命を奪われてゆく事です。「できれば全て残したかった」という想いに免じて、どうかお許し下さい。

### 木

### 言

「以前は障害を持った人と闘っているという感じだったが、最近では障害を持っていて人と共に障害と闘っているという気持ちになった。」とある施設職員は言う。

なるほどと思う。「寮生さんと共に成長しよう」という最初の思いがどこかにいき、何事に関しても寮生さんのためといいながらも、職員の考えを押しつけてはいないだろうか。